

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年11月22日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

1. 2018年3月期 第2四半期 決算概況
2. 2018年3月期 通期業績予想
3. 中期経営計画
「バリュークリエーション2020」の進捗

1. 2018年3月期 第2四半期 決算概況

2018年3月期 第2四半期 決算ハイライト

第2四半期連結累計期間において、上場来最高の売上・営業利益を計上し、通期業績予想を上方修正。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比110.9%、19億円増の198億円。
	日本	前年同期比110.0%の84億円。引き続き、自動車関連が伸長。電子部品・半導体関連、食品・飲料関連も売上を底上げする形で好調に推移。
	中国	前年同期比111.6%の95億円。引き続き、自動車関連と電子部品・半導体関連が堅調。新たに取組んでいる高付加価値の戦略製品が伸長。
	東南アジア その他	前年同期比111.9%の18億円。 欧州、シンガポール、インドネシア、フィリピンが好調に推移。
利益		営業利益は前年同期比167.0%の14.0億円。リバースエンジニアリング事業拡大に伴う設備投資や研究開発投資等による販管費の増加はあったものの、売上増加による利益増に加えて、工場の稼働アップによる原価率の良化により、大幅増益。経常利益は前年同期比176.6%の13.9億円。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比167.6%の9.2億円。
ネット資金		親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、期首から621百万円増加。

損益計算書サマリー

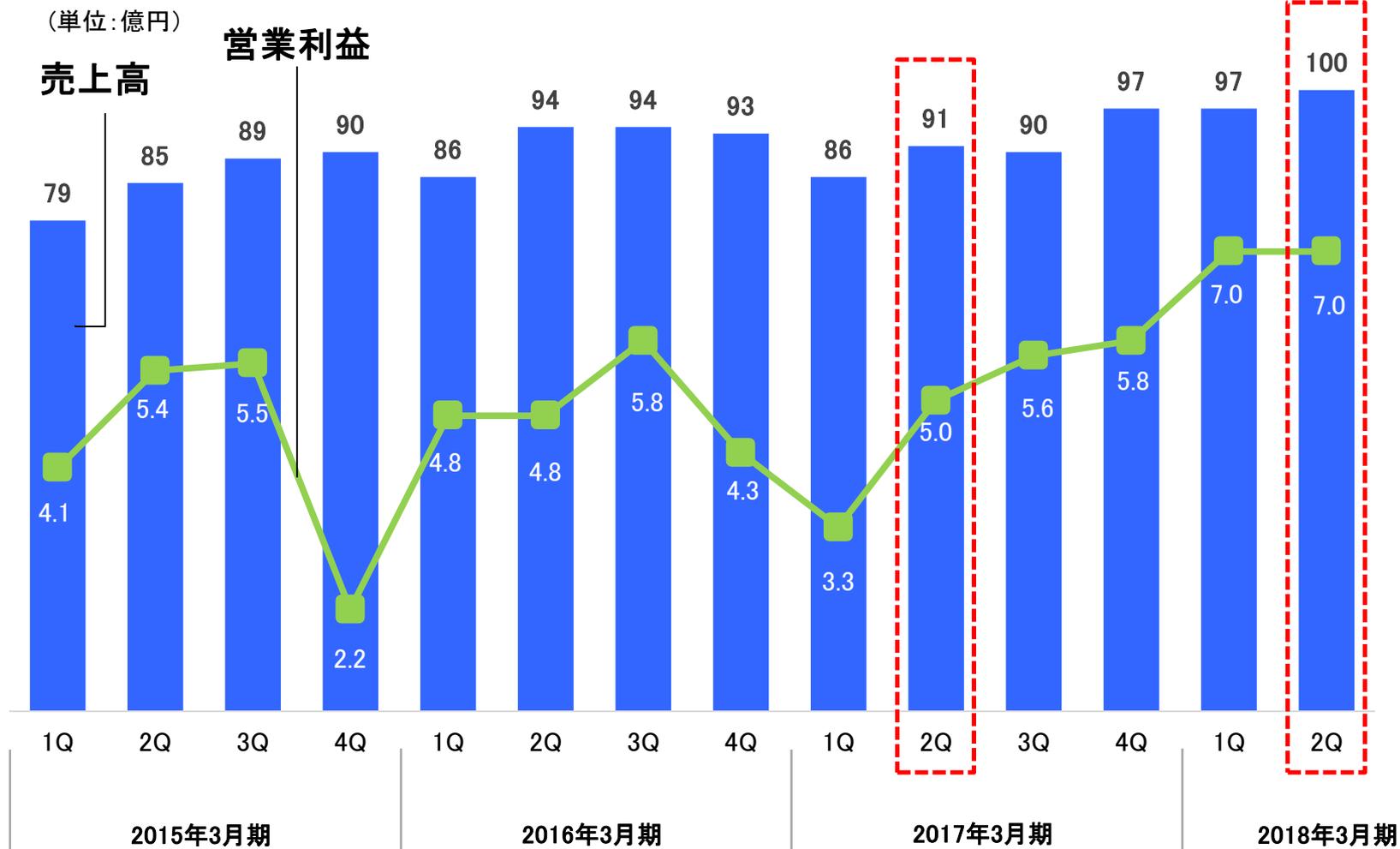
(単位:百万円)

	2017年3月期 第2四半期		2018年3月期 第2四半期		前年同期差	前年同期比
売上高		17,846		19,800	1,953	110.9%
営業利益	4.7%	841	7.1%	1,404	563	167.0%
経常利益	4.4%	791	7.1%	1,398	606	176.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3.1%	549	4.7%	921	371	167.6%



売上高と営業利益の推移

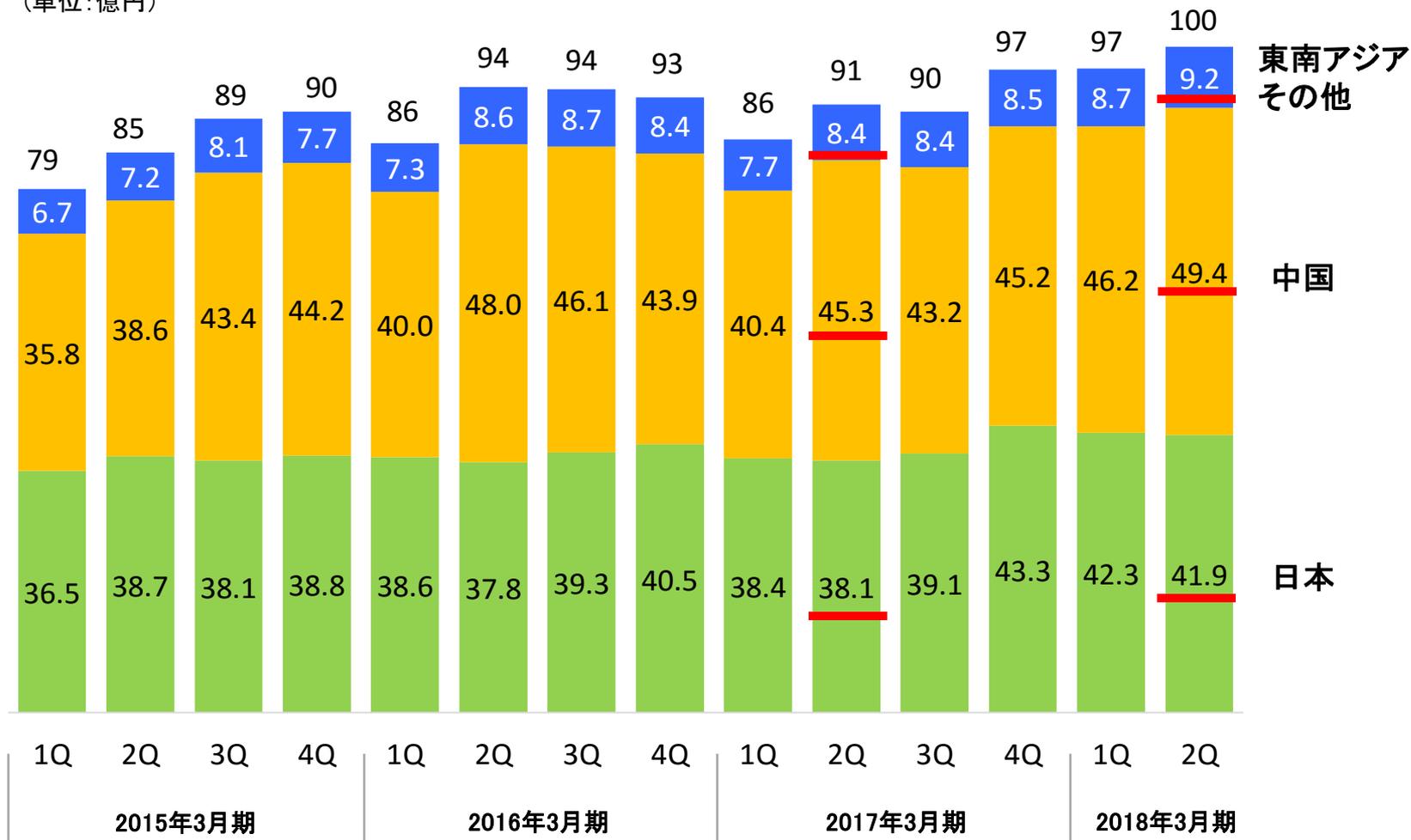
四半期ベースの売上高が初の100億円超え、売上・営業利益ともに上場来最高を更新



地域別売上高

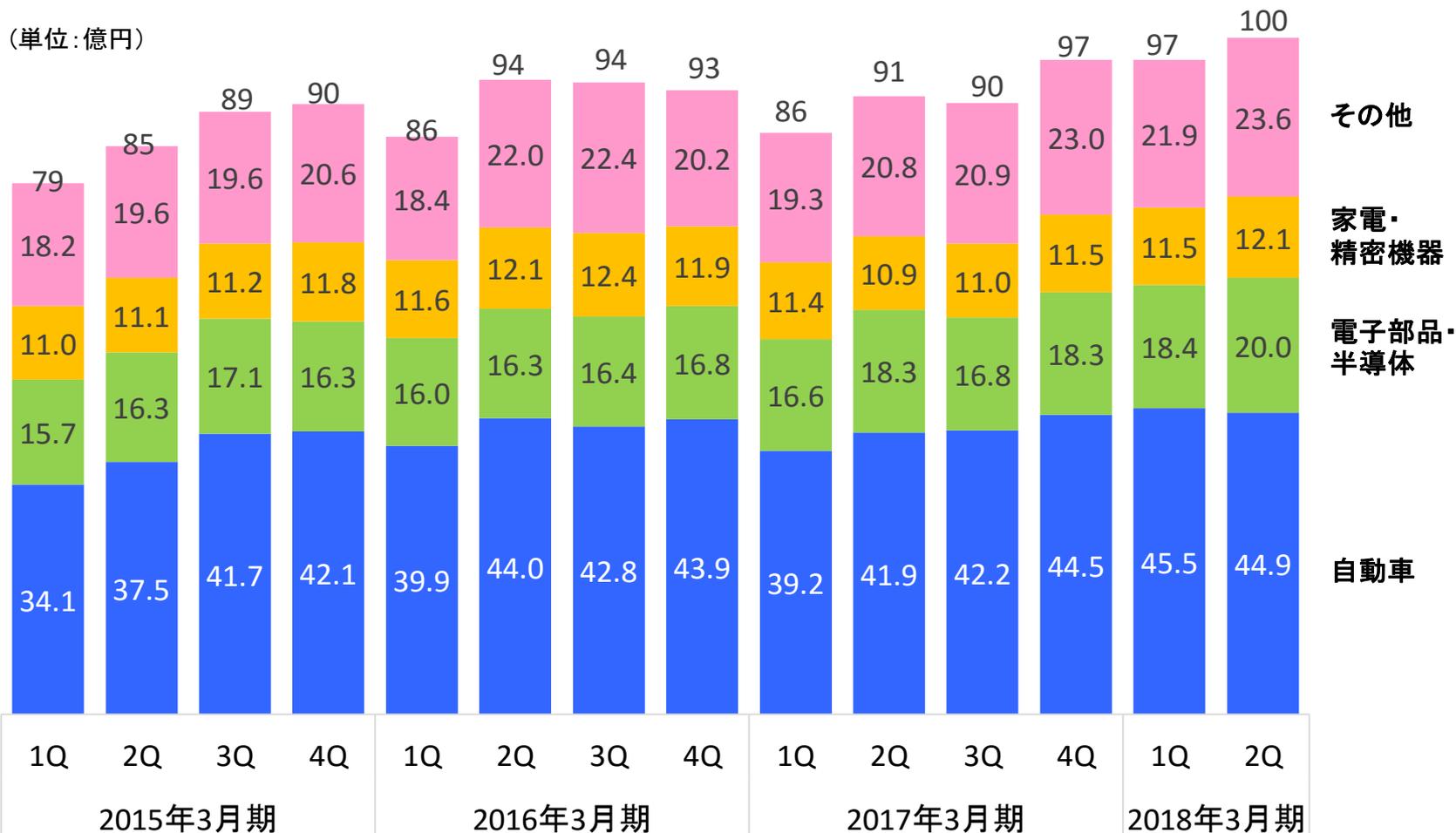
四半期ベースで、全地域が増収を達成

(単位:億円)



業種別売上高

2017年3月期 第4四半期より回復基調に転じた自動車関連の受注が拡大

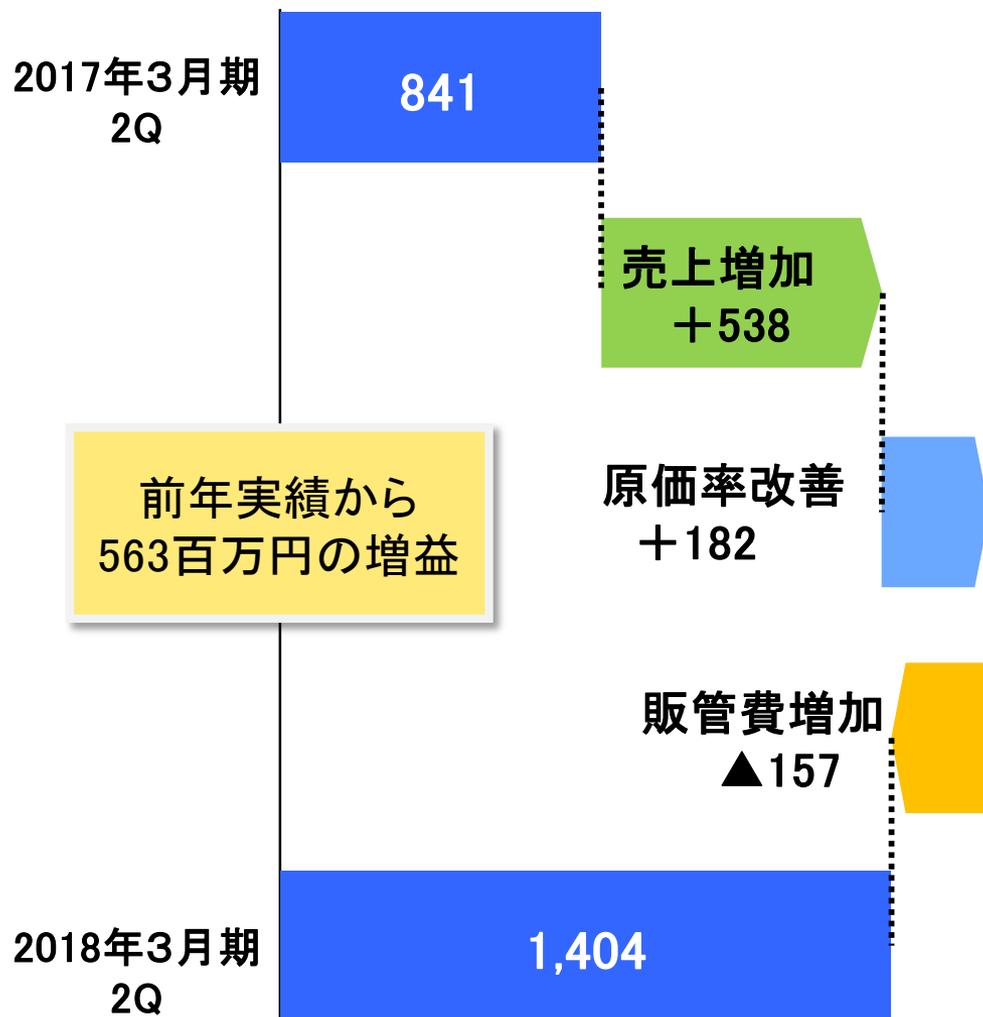


注) 中国における業種区分修正に伴い、2017年3月期のデータを修正



営業利益増減

(単位:百万円)



【売上の主な増減要因】

- 日本事業の自動車関連及び電子部品・半導体関連、食品・飲料関連が好調を維持
- 海外事業の受注が好調継続

【原価率の主な増減要因】

- 海外事業での業績好調による原価率良化
- 内製品の受注増及び工場の稼働アップ

【販管費の主な増減要因】

- リバースエンジニアリング事業の拡大に伴う設備投資
- 新分野開拓のための研究開発費の増加



貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2017年3月期末	2018年3月期 第2四半期末	比較増減
総資産	29,451	30,304	852
総負債	15,275	15,510	235
うち有利子負債	6,857	6,609	▲248
純資産	14,176	14,794	617
ネット資金	▲3,526	▲2,905	621
自己資本比率	48.1%	48.8%	0.7pt

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	1,159	1,192	33
減価償却費(無形固定資産含む)	676	761	85



2. 2018年3月期 通期業績予想

2018年3月期 通期業績予想を修正

(単位:百万円)

	2018年3月期 通期連結業績		
	期初予想 (5/11公表)	修正予想 (11/10公表)	修正予想差 (修正予想比)
売上高	38,000	40,600	2,600 (106.8%)
営業利益	5.8% 2,200	6.3% 2,560	360 (116.4%)
経常利益	5.5% 2,100	6.0% 2,440	340 (116.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.7% 1,400	3.9% 1,580	180 (112.9%)
自己資本利益率(ROE)	9.3%	10.3%	1.0pt



2018年3月期 通期業績予想の前年対比及び配当の予想

(単位:百万円)

	2017年3月期 (実績)		2018年3月期 (予想)		前年差	前年比
売上高		36,648		40,600	3,951	110.8%
営業利益	5.4%	1,990	6.3%	2,560	569	128.6%
経常利益	5.1%	1,874	6.0%	2,440	565	130.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.8%	1,375	3.9%	1,580	204	114.8%
自己資本利益率 (ROE)		9.8%		10.3%	0.5pt	

2018年3月期
配当予想

中間 13.5円
期末 17.5円 (株式分割後8.75円)

株式分割を考慮しない場合
⇒ 年間31円
配当性向21.5%



3. 中期経営計画 「バリュークリエーション2020」の進捗

国内工場の状況



日本：北上工場 食品・飲料関連の新設備

■ 食品・飲料関連の
専用ライン設置

■ 食品・飲料関連の売上
・日本 前年同期比

171%

・連結 前年同期比

143%

中国工場の状況



中国:大連工場 増床工事中

【工場増設の狙い】

■ 戦略製品のライン新設

■ 研究開発スペースの拡張

■ 将来のさらなる設備増強に向けたスペースの確保

ベトナム工場の状況



■ 加工作業、iPadで図面管理
⇒ 習熟度向上中

■ カタログ品の生産開始
⇒ 2019年を予定
※ 2018年に投資



⇒ プレス用金型部品の生産
※ 日本向けに出荷

グローバル生産体制の再編

【課題】カタログ品の粗利改善



バリュークリエイション2020期間の設備投資(計画)
2017年3月期～2021年3月期

140億円

【重点】食品・飲料、医療機器関連



■ コスト力勝負

⇒ ベトナムシフト(カタログ品)

■ 技術力勝負

⇒ 日本+中国(特注品)

リバースエンジニアリングへの取り組み



【お客様の課題解決】

- 既存のお客様とのお取引の幅の拡大
- 異業種＋多業種のお客様から引き合い

- 着実に認知度が向上
メディアでの紹介や、
積極的なPR活動を展開



働き方改革の推進



■ 売り方改革

- ・SFA(営業支援システム)導入

■ 働き方改革

- ・「会議生産性向上マニュアル」制定
- ・「ノー残業デー」の実施

■ 人材育成

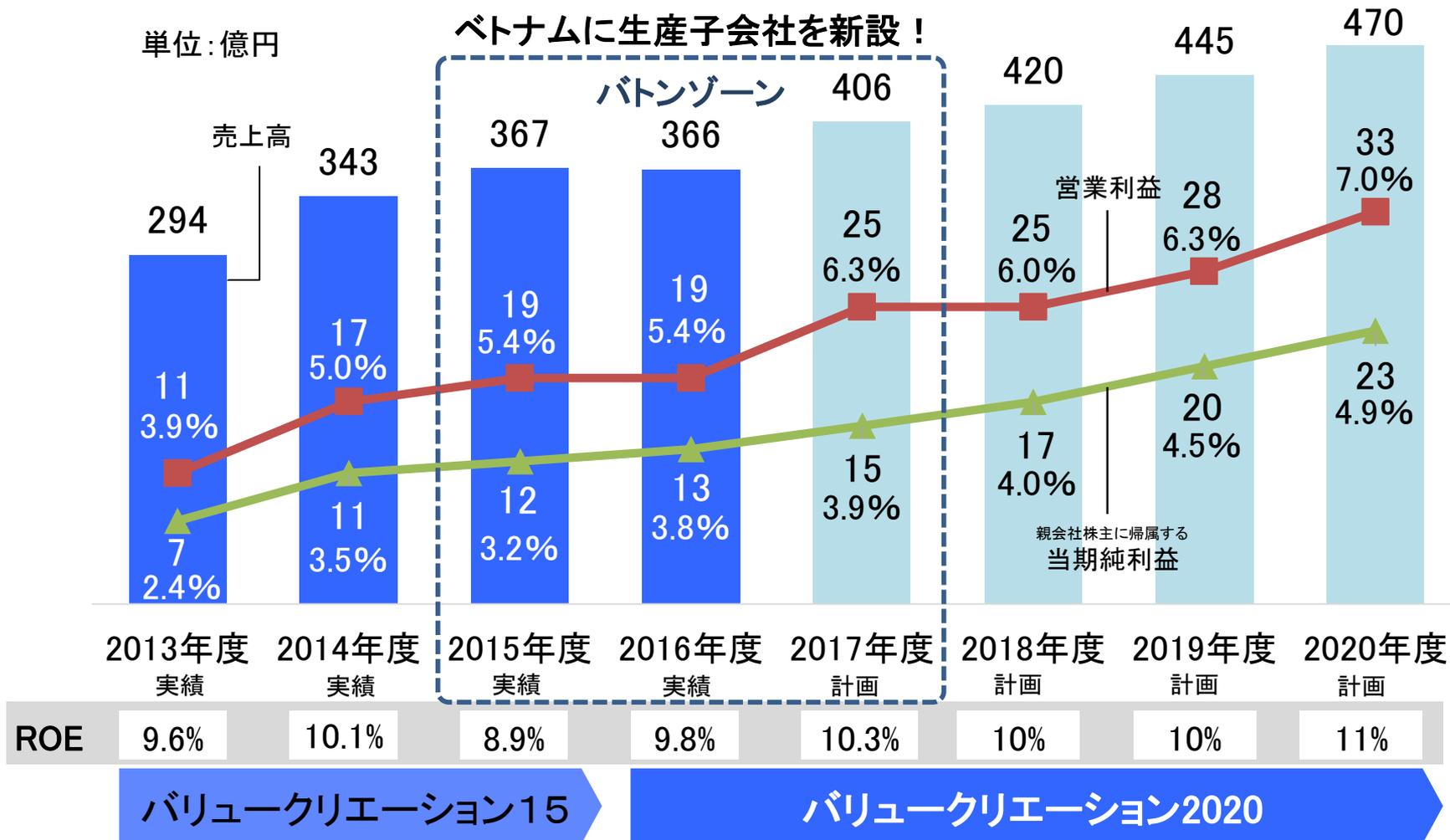
- ・「パンチアカデミー」での技能教育

■ 企業風土改革

- ・社員主体の風土改革活動
- ・サークル活動の推進

経営目標 売上・利益の推移

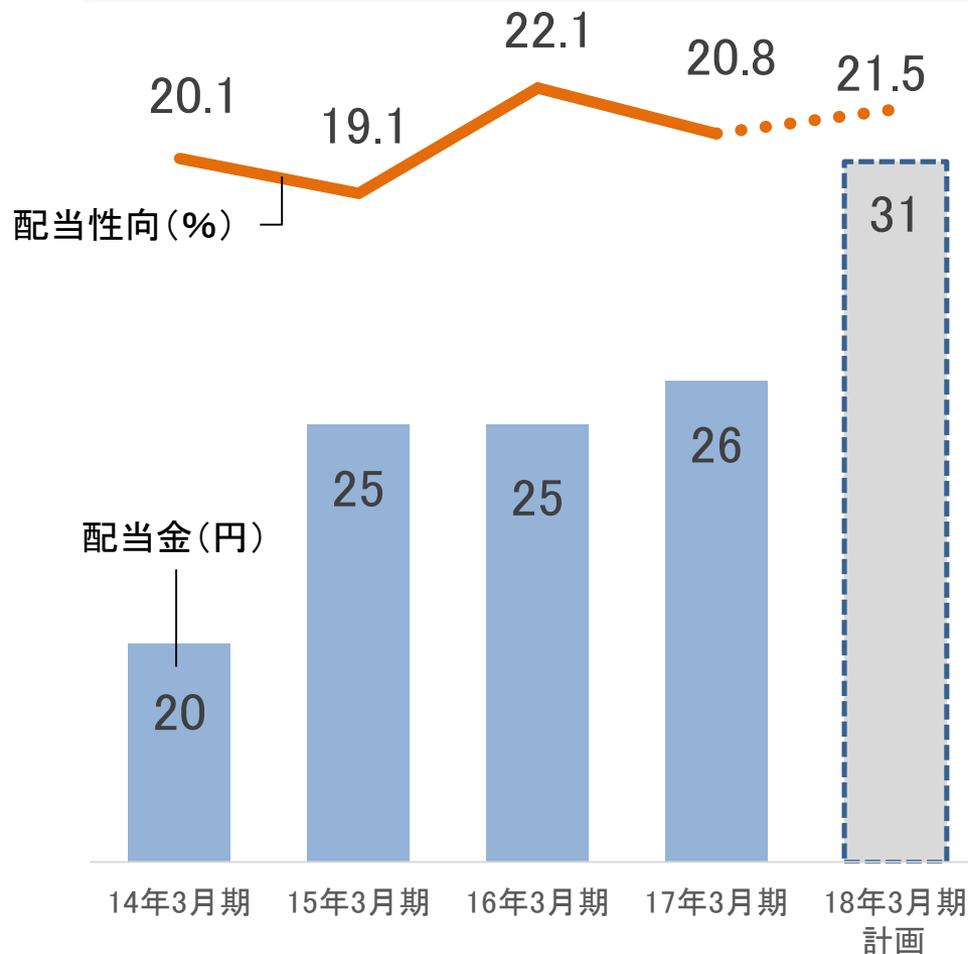
2020年度 売上高**470億円以上** 営業利益**33億円以上** 当期純利益**23億円以上**



1株当たり配当金と配当性向

【配当方針】

安定かつ継続的な配当に加え、業績連動により連結配当性向20%以上を目安としており、増配基調を維持しつつ、段階的に引き上げることが目標



継続的企業価値向上の基盤は、株主の皆さまからの「信頼」と「応援」であり、「期待」にお応えすることが経営の重要課題。

2018年3月期の配当
中間13.5円
期末17.5円(株式分割後8.75円)
⇒2018年1月1日付の株式分割を考慮しない場合、31円予定
(昨年より5円増配)

パンチグループの根幹を支えているのは「人」と「技術」

「職業能力開発関係優良事業所 厚生労働大臣表彰」を北上工場が受賞



本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

参考資料



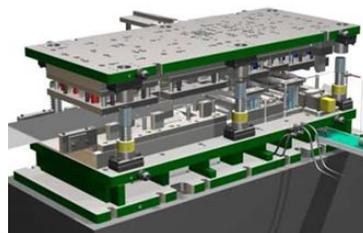
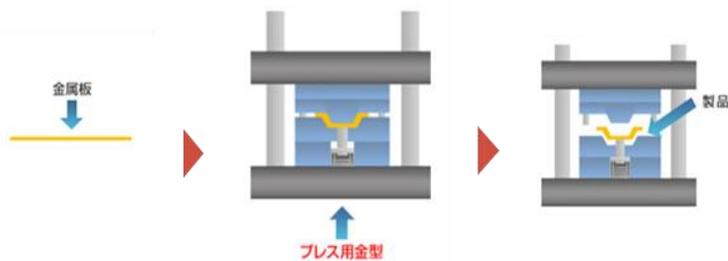
会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,959名(グループ連結、2017年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD. に事業を移管し、2016年9月27日付けで清算を結了しております。



プレス金型と金型用部品



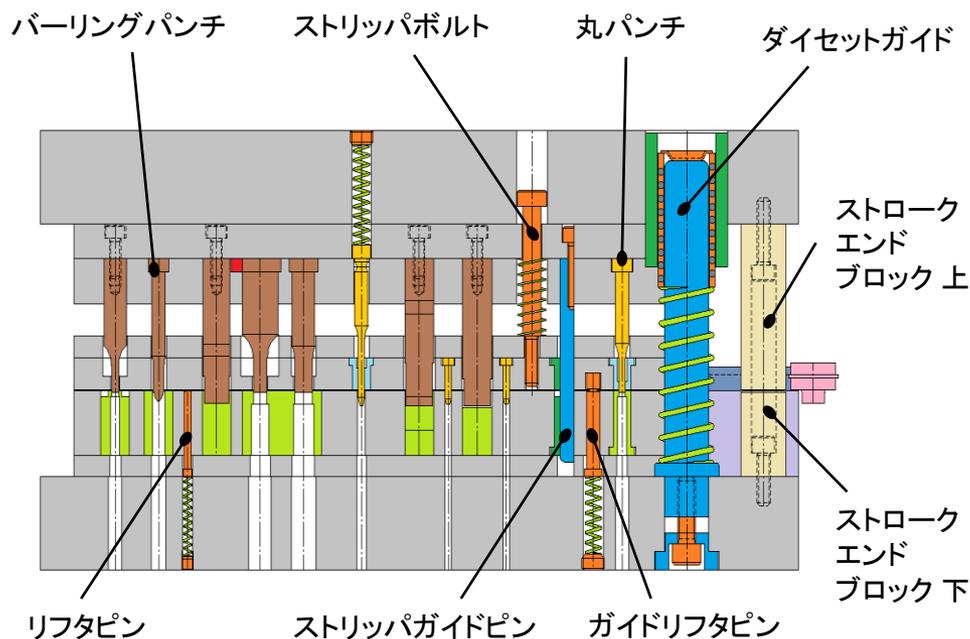
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

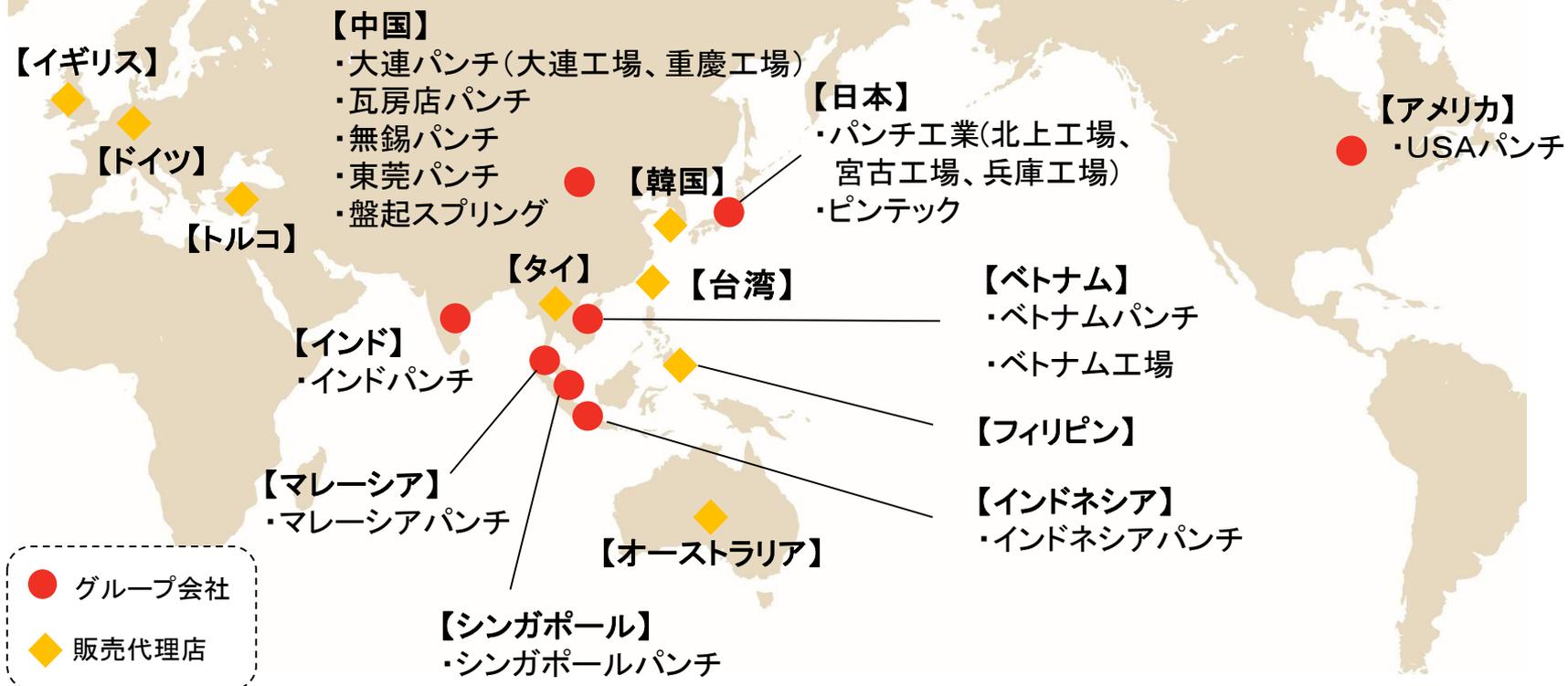
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

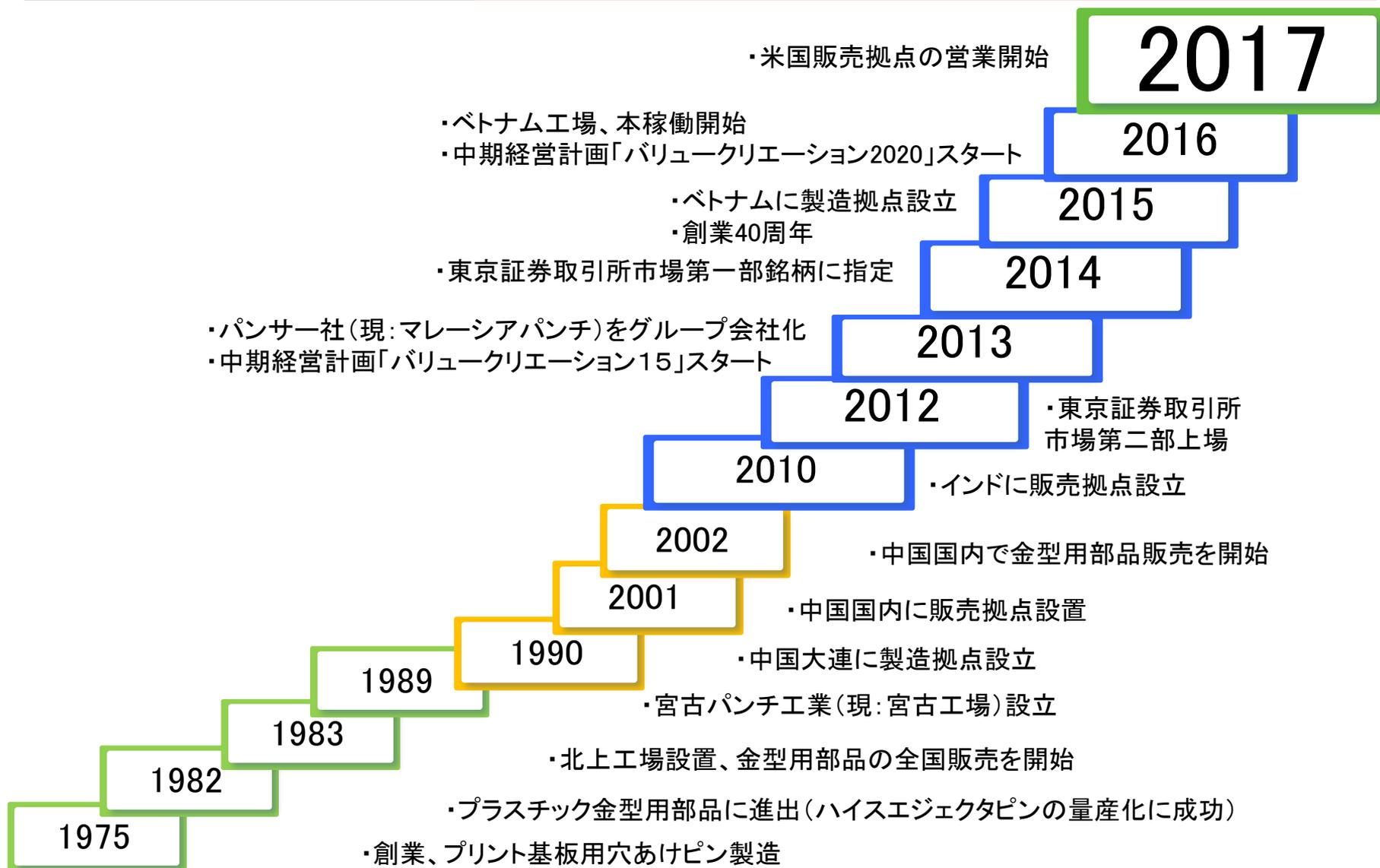
日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
13	40
カ所	カ所

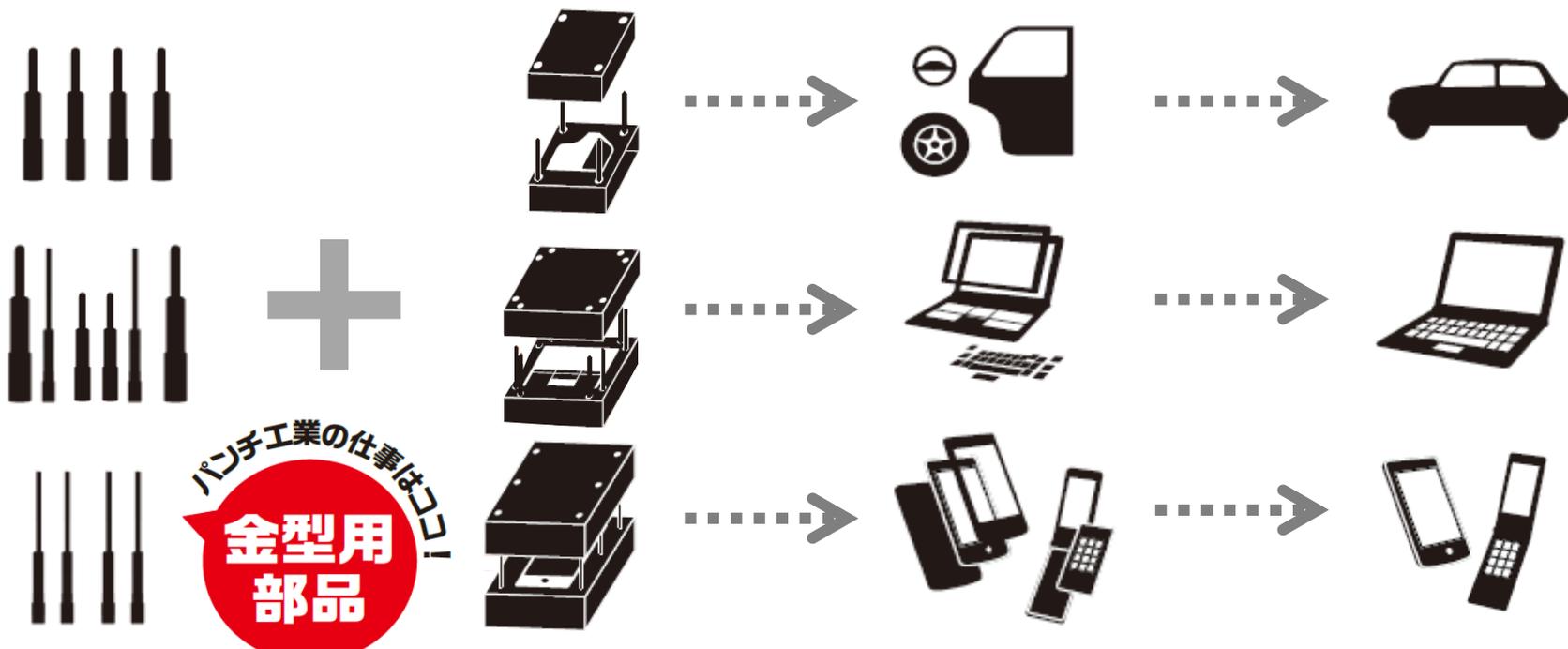


沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



たとえばこんな部品



金型

構成部品を速く、均一に、大量につくるための金属でできた「型」

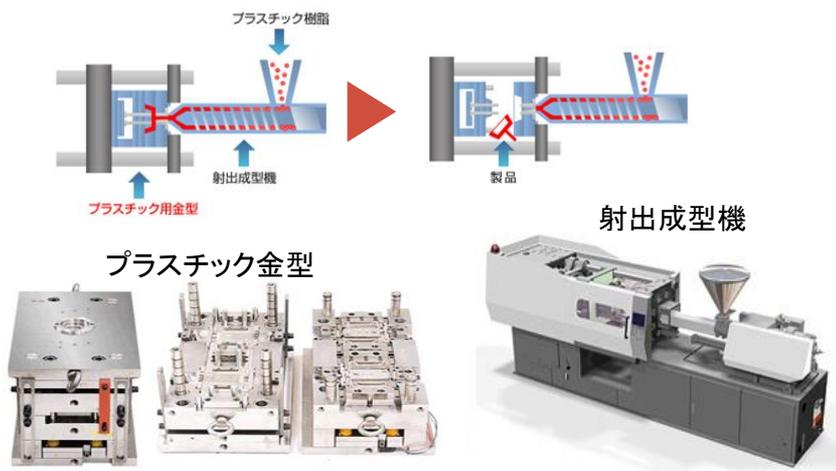
構成部品

製品を構成するために必要となるパーツ

製品

自動車や家電など私たちが身近で使うさまざまな製品

プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング

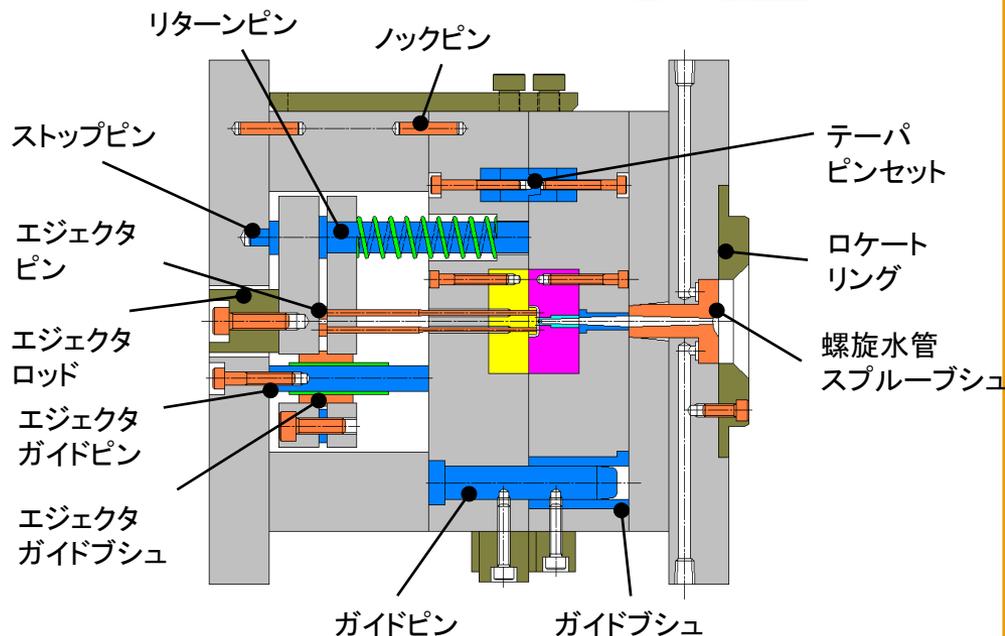
●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

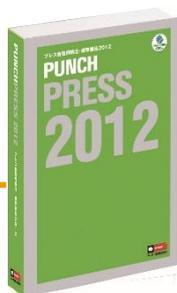
エジェクタピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制

1,800台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

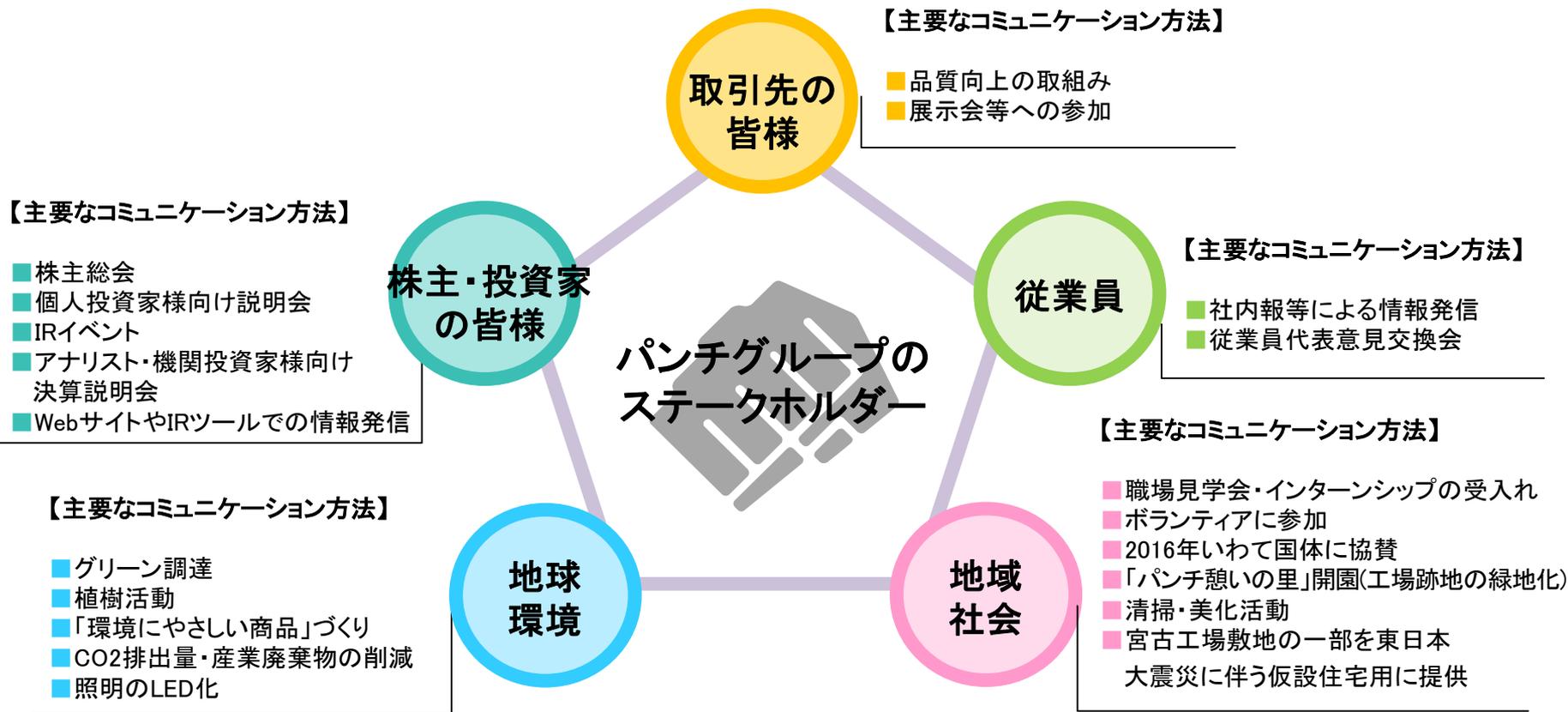
企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動
(2016年いわて国体)